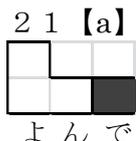


# にほんご発音ラボ

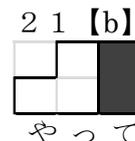
## ～てしまう／しまった

★「動詞のテ形+しまう／しまった」は“完了（何かが完全に終わること）”や“残念な気持ち”を表現します（“うれしい気持ち”を表すこともあります）。

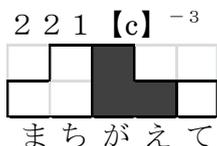
①「本を3冊読んでしまいました」  
(よむ→よんで)



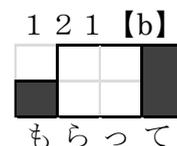
②「宿題はすぐにやっけてしまいました」  
(やる→やっけて)



③「番号をまちがえてしまった！」  
(まちがえる→まちがえて)



④「プレゼントをもらってしまった！」  
(もらう→もらって)



→①②は“完了”、③は“残念な気持ち”、④は“うれしい気持ち”を表します。



## ♪きつと…♪

桜は日本の代表的な花です。散った花びらで川や道がいっぱいになり、絨毯のように見える景色も美しいですね。この歌の主人公はどんな気持ちで桜を見ますか。

### ことばと表現

①舞い散る：花びらや葉が空中を回りながら、落ちていく。

②川のほとり：川のすぐ近く。

③わたしの恋も散ってしまった：わたしの恋も“桜と同じように散ってまって、悲しい”の意味。

④咲かない春はない：『咲かない春』は『ない』という2重否定の表現。“（桜は）春に必ず咲く”の意味。



### 歌詞から学びましょう

★「散ってしまった」は“完了”と“残念な気持ち”の両方を表します。



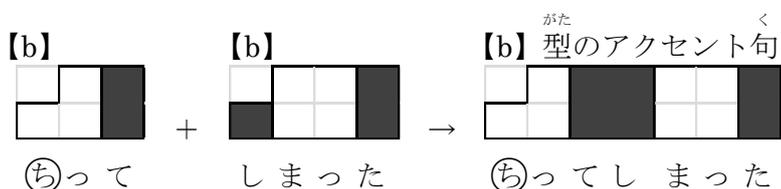
アクセント句

★2つ以上の語や句<sup>注1</sup>を続けて言うとき、全体で1つのアクセント型として、まとまりを持って発音することがあります。このような高さのまとまりを「アクセント句」といいます。この歌では【b】型・【b'】型・【c】型のアクセント句の例を紹介します<sup>注2</sup>。

♪ 【b】型のアクセント句

例) 「散<sup>ち</sup>ってしまった」

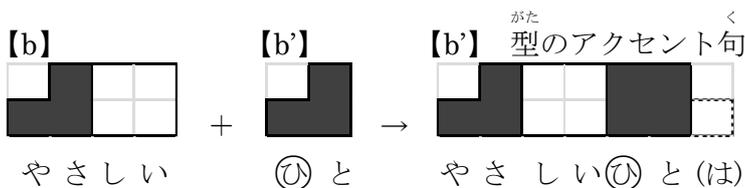
【b】型アクセントの「散<sup>ち</sup>って」と「しまった」を続けて言うとき、後ろの語「しまった」の語頭は低くなりません。そのまま高さを保って発音してください（「行って【b】+しまった【b】」「サクラ【b】+咲く【b】」も同様に、【b】型のアクセント句です）。



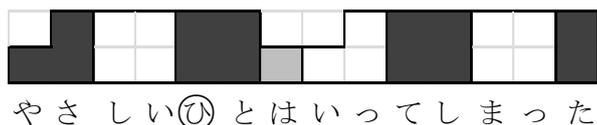
♪ 【b'】型のアクセント句

例) 「やさしい人」

【b】型アクセントの「やさしい」と【b'】型アクセントの「人」を続けて言うときも、後ろの語「人」の語頭は低くなりません。そのまま高さを保って発音してください（助詞の「は」で低くなります）。



🎧 歌詞の「やさしい人は行ってしまった」という文では、次のように高さが変わっていきます。文の中の、このような高さの変化を「イントネーション」といいます。



(1) 「句」とは“文の中の言葉のひと区切り”のことです。2つ以上の語が連続して、1つのまとまった意味を表します（例：サクラが、やさしい人は、どんな気持ちで、わたしの恋も、行ってしまった）。

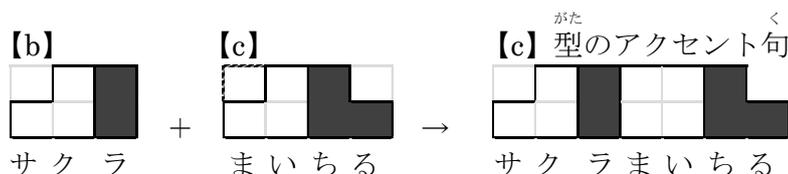
(2) 音楽を大切に作曲しているため、メロディーとアクセント句の高さが一致しない場合もあります。

にほんご発音ラボ

♪ 【c】型のアクセント句

例) 「サクラ<sup>がた</sup>舞<sup>ま</sup>い散<sup>ち</sup>」る

【b】型アクセントの「サクラ」と【c】型アクセントの「舞い散」るを続けて言うときも、後ろの語「舞い散」るの語頭は低くなりません。そのまま高さを保って発音してください<sup>注3</sup>。



★「動詞のテ形+しまう/しまった」は、話し言葉で「～ちゃう、～じゃう/～ちゃつた、～じゃつた」の形（縮約形）で言うことがあります。

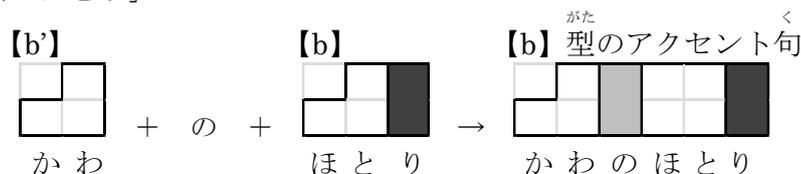


♪ Drill Video きっと…「～てしまった」：マス形、辞書形、「～てしまった」、「～ちゃつた/～じゃつた」の順に続けて練習しましょう（例：読みます→読む【a】→読んでしまった→読んじゃつた）。

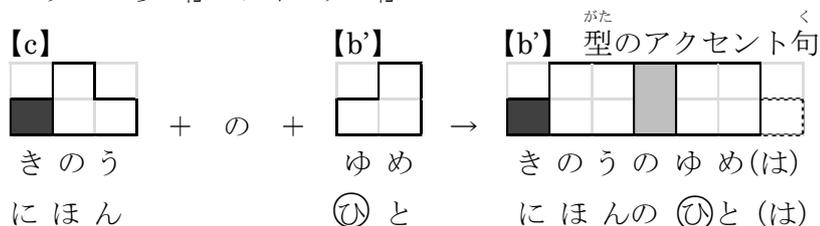
👉 「名詞+の+名詞」の形でも「アクセント句」になることがあります。

♪ 【b】型、【b'】型のアクセント句

例) 「川<sup>かわ</sup>の<sup>の</sup>ほ<sup>ほとり</sup>り



例) 「きのう<sup>ゆめ</sup>の<sup>にほん</sup>夢<sup>ひと</sup>」 「日本<sup>にほん</sup>の<sup>ひと</sup>人<sup>ひと</sup>」



(3) 「舞い散る」の語頭は2モーラ目が「母音(い)」のため、もともと1モーラ目と2モーラ目の高さがあまり変わりません。

(4) 名詞ではなく、副詞的に使う場合の「きのう」は【b】型です（例：きのう彼に会つた）。